

教育書 ご担当者様
いつもありがとうございます。

評論社より「新刊」のご紹介です。

お申込 FAX 番号
03-3260-9408

学校図書館法公布 70 周年記念出版

学校図書館と学校司書の
使命・可能性について考察する。

ハイテク企業のトップは、
なぜ、わが子からスマホを遠ざけるのか
—学校図書館の使命と可能性—

議員政策秘書、文字・活字文化推進機構専務理事として活動してきた著者が、「先にデジタル教科書あり」の教育行政の問題点を明らかにする。紙の教科書と共存、読書の重要性を強く訴え、学校図書館と学校図書館司書の可能性を語る、渾身の一冊！

- 第一章 学校図書館の使命と可能性
- 第二章 改革の鍵を握る学校司書の仕事
- 第三章 本をひらくと新しい世界がある
- 第四章 ハイテク企業のトップは、
なぜ、わが子からスマホを遠ざけるのか
- 第五章 データ資本主義とビッグ・ブラザー
- 第六章 IT 企業がリードする学校教育
- 第七章 国語力はすべての基本
- 第八章 読むとき、生きる力が育つ
- 第九章 壁の文化を壊すバリアフリー



渡辺鋭氣／著
定価 本体 2,200 円＋税
ISBN978-4-566-05186-7
NDC370 256頁 四六判並製

**4 月上旬
刊行予定！**

「紙かデジタルかという二者択一の論議ほど不毛なものはない。紙とデジタルを使い分け、自ら快適な生活をつくりあげる以外にない時代に生きているのである。子どもの生活もそうである。子どもがデジタルスクリーンにおぼれなくて、それぞれの特性を適切に使こなす術を、わたしたち大人は教えなければならない」。(「あとがき」より)

ご担当 () 様

月 日

新刊

ハイテク企業のトップは、
なぜ、わが子からスマホを遠ざけるのか
—学校図書館の使命と可能性—

冊

ISBN978-4-566-05186-7 c 0037 定価 本体 2200 円＋税

〒162-0815 東京都新宿区筑土八幡町 2-21 (株) 評論社 Tel.03-3260-9401 (代表)

(HP)